

# HIO YOG

## 教区新報



兵庫教区教務所  
ホームページ



兵庫教区教務所  
facebook

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所  
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号(本願寺神戸別院内)  
電話 神戸(078)341-5949(代)  
[編集] 兵庫教区広報部

2018. 6 202号

# 貧困の克服に向けて — 宗門全体の取り組み —

五月二十日、神戸別院において、「兵庫教区重点プロジェクト推進のための学習会」が開催された。本学習会は、新たに策定された「御同朋の社会をめぐす運動(実践運動)総合基本計画」重点プロジェクトに基づき、「親教」(念佛者の生き方)のお心をいただき、具体的な平和貢献策として取り組む、宗門重点

プロジェクトの実践目標「貧困の克服に向けて」(Dana for World Peace)「子どもたちを育むために」を推進することを願っている。現在、宗門のあらゆる人々が課題を共有し、其々の立場で、この目標達成を目指して、宗門全体で一体感を持って取り組んでいく体制を整えるこ



学習会は満堂となった

とを目的に、全教区・特区で開催されている。

本目標が設定されるまでの経緯を振り返ると、平成二十四年度に重点プロジェクトが提唱されて以来、教区・組等では、其々の地域性や特色を活かした独自の実践目標を定めて活動してきた。例えば、兵庫教区では「災害対応」に「ざ」という時のために「で」、安否確認メールの登録等の活動がそれにあたる。

しかし、「これまで基幹運動で取り組んできた『差別・人権・非戦平和』などの取り組みを、宗門全体で継続していかなくても良いのか」「独自の取り組み」といっても、ある程度宗門で方向性を示してほしい」等の意見があったことも事実であった。

もちろん「宗制」に「同朋教団であり、あらゆる人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝え、もって自他ともに心豊かに生きる」ことのできる社会の実現に貢献するものである」と示されていることから、基幹運動の基本理念である、私達は「御同朋、御同行」であると



法事に参りますとよくお仏壇の荘厳について質問を受けます。ある時、いつものように「お荘厳は、蠟燭、花、香、仏飯に併せて、仏様に近い所から、お餅、お菓子、果物をお供えください。」と説明しますと、小学生の男の子が「それだったら、仏様には苺大福をお供えしたらいいね。」と提案してくれました。

◆確かに苺大福にはお餅もお菓子も果物も使われており「なるほど!」と感心しましたが、だからといって苺大福だけお供えすればそれで十分とは思わないのです。そこには阿弥陀様にお供えする大切なものが一つ欠けております。それは私の時間と手間です。

◆お仏壇というのは南無阿弥陀仏のお慈悲に気づかされ、再確認させていたたく大切な場であります。阿弥陀様は量ることができない時間を掛け、今、私の苦悩の現場ではたつき続けておられます。◆だからこそいつもお仏壇の荘厳を整える折は、自分の大切な時間もお供えする気持ちで、阿弥陀様のお慈悲を受け止め、お礼申しあげたいものです。

岡山北組 宝福寺 正親智隆

いうことと、実践運動の『心豊かに生きる』ことのできる社会の実現に貢献する』こととは別ではなく、これまで通り宗門として一貫して組んできた目的・課題であることに変わりはない。

宗門では、戦後七十年を機縁に三年間に亘り『平和問題に関する論点整理』を行い、それをふまえ四つの平和貢献策を提案、全教区で公聴会を開催し様々な意見を聴取した。そして、その提案の一つである『経済格差・貧困の克服へ』に、宗門として力を注ぐべきと方向性を定めた。

これは『消極的な平和』つまり戦争の無い状態で良しとするのではなく、戦争が無い状態だけでなく、人権の尊重や差別・貧困の克服等、戦争の原因となるものが無い世界を実現するため貢献していくということである。

世界では、地理的要因や気候変動、紛争状態、不平等な経済構造等から、十秒に一人の割合で、子どもが飢えのために亡くなっている。

また、『相対的貧困』とい

う、その国の文化・生活水準と比較して困窮した状態であるかで評価した割合が、日本は先進国の中で五位という大変厳しい現状であり、七人に一人の子どもが、貧困状態にある。

その様な現実の中、国内外の組織が、国際連合で採択された『SDGs（持続可能な開発目標）』の「誰一人取り残さない」を目標として、貧困問題に取り組んでいる。

ご親教『念仏者の生き方』では「テロや紛争、経済格差、地球温暖化、核物質の拡散、差別を含む人権の抑圧など」の課題に、念仏者として「私たちは他者の喜びを自らの喜びとし、他者の苦しみを自らの苦しみとするなど、少しでも仏さまのお心になう生き方を目指し、精一杯努力させていたたく人間になるのです。」とお示しく下さいました。

私達の先人や身のまわりの人々がどの様な取り組みをしてきたかを学ぶとともに、念仏者として何が出来るのか、どの様に取り組んでいくのかを、今こそ

考えていかねばならない。

## 浄土真宗の教学相談 第1回

浄土真宗のみ教えに関して、さまざまなご質問をお持ちの方がいらっしゃるのではないのでしょうか。この度の連載では、これまでお聞きした教学相談の中からいくつかのご質問を取り上げ、お聖教の言葉を依り所にしながら考えてみたいと思います。

### 浄土真宗はなぜ修行をしないのでしょうか？



仏教における「行」とは、生死の迷いを超えて、安らかな悟りを実現する徳をもった、真実の行いといえます。しかしそのような行い、果たして私が見ることが出来るのでしょうか。大きな問題です。もし私が自分の力に頼って、悟りの世界を目指さなければならぬのであれば、この身心を研ぎ澄まして一歩一歩、真理の領域へと近づいていかなければなりません。しかし、煩惱に惑わされて生きる凡夫の現実はそのようになります。

と、『大無量寿経』には告げられていました。それは仏道修行を完了する術を持たず、絶望の淵に立たされているような煩惱具足の凡夫にとつて、身心に染み入るような安心と、身心が震えるような慶びを与えていく教説であったといわねばなりません。

凡夫であることの悲しみは、いつも自己中心的な思いに支配され、愛と憎しみの感情に振り回されながら、善悪の行を行なっていることです。ですからたとえ善行を行なったとしても、それは悟りの実現には役立つことのない、煩惱のまじった「雑毒の善」であり、「虚仮の行」であると、親鸞聖人は厳しい言葉で言い切っていました。

阿彌陀如来は迷いの世界に埋没する苦悩の衆生に、まことの功德を恵み与えていく為、「南無阿彌陀仏」の本願の名号を完成してくださいました。まさに自らの行いでは、仏の悟りへ到る手がかりさえつかむことのできない私の為、法蔵菩薩の五劫思惟のご思案と、兆載永劫のご修行という果てしないご苦労があったのです。このご苦労の結果こそ、「南無（まかせよ）阿彌陀仏（われに）」と、告げられている如来の救いの名告りでした。

仏の悟りを表現する為には、当然、仏と成る為の真実の功德がなければなりません。しかし本来、仏道を歩む者が行なわねばならなかった功德の完成を、阿彌陀如来がすでに為し終えてくださったとい

私たちが称えている「南無阿彌陀仏」のお念仏の一声一声は、阿彌陀如来がすでに修し終えられ、完成された真実の功德そのものをいただいているすがたです。親鸞聖人は浄土真宗に「行」がないと仰った方ではありません。反対に「いづれの行もおよびがたき身」（『歎異抄』）といわれる、いかなる修行も完成することのできない悲しむべきわが身に、「大行とはすなはち無礙光如来の名を称するなり」（『教行証文類』）といわれる、如来より与えられた「南無阿彌陀仏」という、いかなる自力の行にも超え勝れた、偉大なお念仏の行をたまわっていることを、心からよこばれたお方だったのです。

### 赤井 智顕

阪神西組 善教寺副住職  
1980年生まれ

龍谷大学・相愛大学 非常勤講師  
本願寺派総合研究所 研究員  
NHK文化センター 講師 など



本願寺派総合研究所内に設置されている、教学相談窓口「いのちと念仏」相談センターの相談業務に2007年～2015年まで従事。研究分野は真宗学（真宗教学史）。

# 2018(平成30)年度 兵庫教区一般会計歳計予算

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

## [ 歳入 ]

款	項	費 目	平成30年度予算額	平成29年度予算額	対比△減
1		賦 課 金	72,220,000	71,060,000	1,160,000
	1	本年度賦課金	72,100,000	70,860,000	1,240,000
	2	過年度賦課金	120,000	200,000	△ 80,000
2		宗 派 交 付 金	27,750,000	28,050,000	△ 300,000
	1	各種助成金	18,550,000	18,850,000	△ 300,000
	2	地方事務費	9,200,000	9,200,000	0
3		願 記 手 数 料	4,000,000	4,600,000	△ 600,000
4		会 費 収 入	2,480,000	4,230,000	△ 1,750,000
5		回 金	1,030,000	2,030,000	△ 1,000,000
6		雑 収 入	2,870,000	2,870,000	0
7		繰 越 金	12,000,000	10,000,000	2,000,000
<b>歳 入 合 計</b>			<b>122,350,000</b>	<b>122,840,000</b>	<b>△ 490,000</b>

## [ 歳出 ]

款	項	費 目	平成30年度予算額	平成29年度予算額	対比△減
1		教 化 事 業 費	41,860,000	41,900,000	△ 40,000
	1	実践運動費	38,190,000	38,290,000	△ 100,000
	2	組教化助成費	3,670,000	3,610,000	60,000
2		会 議 費	4,270,000	3,440,000	830,000
3		宗 会 選 挙 費	30,000	30,000	0
4		教 務 所 費	69,130,000	69,230,000	△ 100,000
	1	職 員 費	61,430,000	61,130,000	300,000
	2	事 務 所 費	7,500,000	7,900,000	△ 400,000
	3	災 害 対 策 費	200,000	200,000	0
5		回 金	5,203,000	6,065,000	△ 862,000
6		予 備 費	1,857,000	2,175,000	△ 318,000
	1	第 一 予 備 費	957,000	1,175,000	△ 218,000
	2	第 二 予 備 費	900,000	1,000,000	△ 100,000
<b>歳 出 合 計</b>			<b>122,350,000</b>	<b>122,840,000</b>	<b>△ 490,000</b>



## 仏壯連盟・総代会 ブロック別研修会 日程決まる

【平成三十年年度日程】

◇ブロック名／期日／会場  
〈仏壯連盟〉

◇阪神・神戸／七月八日  
(日)／神戸別院◇東播／  
期日未定／会場未定◇姫  
路・西播／六月三十日(土)  
／たつの市御津文化セン  
ター◇丹波・但馬／七月七  
日(土)／氷上東組明光寺

(北和田)◇岡山／九  
月九日(日)／岡山北  
組宝福寺

◇門徒総代会

◇阪神・神戸／十一月  
五日(月)／神戸別院  
◇東播／九月十日／

高砂市文化保健センター◇  
姫路／十月三日／龜山本  
徳寺◇西播／九月二十八  
日(金)／たつの市御津文化  
センター◇丹波／十月二十  
四日(水)／氷上東組明光  
寺(北和田)◇但馬／九月  
十三日(木)／シルク温泉や  
まびこ◇岡山／十月二十六  
日(金)／岡山南組西方寺

### 新職員ご案内



もりおか あきひで  
森岡 章秀 氏

平成三十年四月一日付  
で、森岡章秀氏(大阪教区川  
中北組教岸寺)が、書記・承  
仕として入所致しました。

### 異動

三月三十一日付で、岡橋大  
誠氏(主事・参勤)が奈良教  
区教務所へ異動致しました。

### リーフレット 『おぼん号』 受付中



年三回発行のリーフレッ  
ト『法』シリーズ。今回のお  
ぼん号は、宏林晃信師(阪  
神南組浄元寺)にご執筆い  
ただきました。

一部二十五円(送料実  
費)にて販売しておりま  
す。ご注文は教務所まで。

【教務所 ☎：〇七八・三四一、  
五九四九／FAX：〇七八・  
三四一・八五三六】

### 仏教伝来の地を訪ねて 蓮華会聞法の集い

兵庫教区参与会「蓮華  
会」聞法の集いが、四月三  
日から五日にかけ、会員  
とその家族二十七名参加  
のもと、韓国・釜山にて開  
催された。

初日は、金海空港到着  
後、十キロメートルに渡る  
桜並木を車窓から眺めつ  
つ釜山市内へ移動し、市内  
観光。龍頭山公園や南浦  
洞(チャガルチ市場)を散  
策し、屋台や繁華街の熱

気を楽しんだ。  
二日目は慶州  
へ。研修旅行の  
目的地である仏  
国寺、石窟庵(共にユネス  
コ世界遺産)を参拝。  
あいにくの雨となったが、  
新羅全盛期の最高傑作と  
名高い韓国随一の古刹に、  
「シルクロードを通過して中  
国、百済から日本へと伝来  
した仏教文化を感じるこ  
とができた」緑、赤、青の彩色  
が施された伽藍や戦火を免  
れた石造物が素晴らしく「か  
つ」と参加からは感想が。

その後、国立慶州博物



仏国寺

館を訪れ、多くの新羅時  
代の文化財に触れた。  
最終日は、岩場に建て  
られた海の寺院、海東龍  
宮寺へ。一〇八段の階段を  
下り、岸壁に建つ寺院と海  
の絶景を堪能した後、全  
員無事に帰路に着いた。

### 蓮華会を知っていますか??

兵庫教区参与会『蓮華会』は平成13年に他の教区  
には例を見ない組織として浄土真宗の教えを伝え、  
次世代を担う子どもたちの豊かな心を育みたい!その  
ような思いをもって兵庫教区内僧侶・寺族、門信徒が  
手を携えて設立しました。

その趣旨と目的は教区の発展と活性化、青少年  
の健全な育成強化と寺院後継者の養成を積極的  
に援助することです。

平成29年度の主な助成先

- ・兵庫教区
- ・兵庫教区実践運動推進委員会
- ・兵庫教区少年連盟
- ・兵庫教区保育連盟
- ・兵庫教区仏教青年連盟
- ・兵庫教区青年僧侶の会



今後も『蓮華会』は教区・青少年育成の発展、活性  
化に邁進してまいります。ご協力をお願いいたします。

入会についてのお問合せは  
教務所『蓮華会』事務局まで



毎になって一緒に  
Cleri  
クレリ

## クレリ東灘ホール

(株)花六総本店

☎0120(00)8769 FAX 078(851)2396

〒658-0041 神戸市東灘区住吉南町3丁目2-31